

令和7年度 事業報告

社会福祉法人 藤暢会 全体

令和7年度も新型コロナウイルスを始め、インフルエンザやノロウイルスなど各種感染症が猛威を振るう中、職員一丸となり感染症への対策を徹底して行いました。

2025年問題への対応として、積極的な人材確保に努め、採用を強化しました。

事業収支上では、物価高騰の影響は大きく、生活インフラに関わる費用をはじめとした運営に必要な生活必需品や物品の高騰は、全ての品目に及び経営を圧迫しました。

特別養護老人ホームあかりでは、感染症防止を最優先とし、事故防止、虐待防止を徹底し、利用者様が日々の生活に満足いただけるように尽力しました。

津山クリニックは、多様な診療科目の医療提供により、地域医療への貢献を果たしています。

東和ほほえみ保育園岡山においては、活発化する保育園行事に各種感染症対策を実施しながら対応し、計画通り実施することができました。

東和ほほえみ保育園拠点、令和8年3月末をもって拠点廃止となりましたが、職場環境支援と地域貢献双方の役割を担うことができました。

今後も、法人全体のリスクマネジメントに取り組み、業務改善、健全経営を行ってまいります。

法人本部

定期理事会・評議員会の開催。

- (1) 法人運営会議の運用により、各拠点と経営との情報共有を行いました。
- (2) 行政、関係機関との連携強化を図り、円滑な法人運営に努めました。
- (3) 税理士法人との情報交換、共有により法人の財務健全性強化を図りました。
- (4) 2025年問題に対応するため、ハローワークや各教育機関と連携し、人材確保に向けた活動を強化しました。

特別養護老人ホームあかり

あかり基本理念 第2項『入居者・利用者が主役です』、第3項『地域との共生の場です』並びに第4項の再構築『常に変化し続ける施設です』の基

- (1) 施設・スタッフサービスの改善やレベルアップに重点をおきながら、令和7年度も多種感染防止を引き続き最優先に事業運営を行い、事故防止、虐待防止を徹底の上、入居者様及び利用者様が日々の生活にご満足いただけるようなケアの提

供に尽力しました。

- (2) 津山クリニックや地域医療機関と連携し、入居者様、利用者様、職員の健康維持と健康管理の充実を図り、「医療・介護・介護予防・生活支援」の総合サービスを提供することができました。
- (3) 新規入居時や新規及びリピートでのショートステイ利用時の抗原検査を毎回実施した結果、多種感染症について入居者様、利用者様の感染者はゼロを達成しています。
- (4) 勝央町内にあります五つの社会福祉法人で活動する、「勝央町福祉ネット金時」との連携による地域包括ケアの構築を進めました。
活動については地域小学校での福祉体験講座を開催し、高齢者疑似体験を行いました。
また、災害ボランティアの確立のため、各事業所が特に災害備蓄倉庫の使い方や、食品や備品についての共通認識と自助共助を見据えた地域貢献活動を行っています。

津山クリニック

- (1) 基本理念である『地域に寄り添う保健室』を継続目標として取り組み、他医療機関と連携しつつ、医療福祉サービスを提供しました。
- (2) 多様な診療科目の医療提供に取り組み、地域貢献を果たしました。
- (3) 津山市医師会からの要請に答え、当番医制度への対応により、地域医療に貢献しました。

東和ほほえみ保育園岡山

令和8年3月末をもって拠点廃止となりましたが、下記貢献を行いました。

- (1) 保育理念を「個を大切にし、丈夫な体と豊かな心を育てる」とし、地域の子育てをサポートし、地域の働きやすい職場環境創りに貢献しました。
- (2) 安全対策委員会の運用により、毎月のヒヤリハットを検証し、事故防止に向けての環境改善や注意事項の検証を行い、全職員に周知徹底を図りました。
- (3) 感染対策委員会の開催により、園内の感染対策について検討し、玩具、保育室の消毒などの環境整備を徹底し、感染症予防に努めました。

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人藤暢会

法人本部

概要

ウクライナ紛争が長期化するなど、世界情勢が不安定となり物価上昇に歯止めがかからない状況が続き、高騰する物価対応に苦慮した1年でした。

国内では、少子高齢化が進む中、人材確保に努め安定した介護・医療・保育のサービスを提供する体制構築に努めました。実際に2025年は、物価高騰や人材不足等を要因とした介護事業者の倒産が統計開始以来過去最多の件数となり、2年連続で最多を更新しました。社会福祉法人の運営を取り巻く環境は厳しさを増しています。

人材確保が重要性を増す中、定年後の雇用体制の見直しや給与体系の見直しに着手しており、65歳以降の高い労働意欲と法人側の人材確保の必要性に対応してきました。

新型コロナウイルスは5類移行後も油断できない感染の広がりを見せ、インフルエンザ等の感染症も猛威を振るいました。各種行事や社会活動が活発化する中、感染防止対策実施等全力で各拠点の後方支援を行いました。

令和7年度重点課題と対応状況

① 感染症対策

各事業拠点における感染対策や対応を踏まえつつ後方支援を行いました。社会活動が活発化する中、求められる支援対応を検討し、限られた人員の中ですが活動を行いました。

② バックオフィス（後方事務）の生産性向上・人材確保

安定した法人施設運営には、人材の確保が必須要件となります。

人手不足倒産が増加する中、人材の募集強化を行いました。

結果、外国人人材に頼ることなく人材の確保が行えました。2025年問題への積極的な対応が行えました。

また、労務管理を強化し安心して働ける環境整備に注力しました。

③ 財務の安定

長期的に安定した法人運営のための財務基盤の確立を目指し、資金調達や収支管理を行いました。

採算が取れていなかった東和薬品との委託費増加交渉を行いました。

結果として東和ほほえみ保育園岡山の運営から撤退することになりましたが、今後の赤字は回避されることになりました。

法人本部運営状況

地域連携として、行政、関係各機関との連携を強化し、円滑な事業運営に注力してきました。また、社会福祉法人としての責任を全うするため、各機関との連携、調整を更に強化していきます。

今後の法人本部運営

① バックオフィス（後方事務）強化

- ・人手不足、２０４０年問題への対応（人材確保）

２０４０年には高齢者がピークを迎え２０４０年問題としてクローズアップされ、労働者確保に苦慮と言われていましたが、すでに労働者確保がままならず、廃業・倒産に至る企業や業態も出始め大きな問題となっています。

法人の存続には職員確保は必須問題です。今後も安定した職員確保に向けた施策を検討・実施していきます。

② 財務の安定

長期的に安定した法人運営のための財務基盤の確立を目指し、収支管理を強化し効率的な資金運用に注力します。

- ・全拠点の事務経理職員による収支や、経営状態の把握の徹底。
- ・コスト意識の強化、上昇。

③ 福祉サービス品質の強化支援

各拠点で提供する福祉サービスの品質をチェックし、改善・向上が出来るように支援を行います。

- ・ヒヤリハット、苦情要望等の吸い上げによる各拠点支援。
- ・各事業拠点での事故発生を抑止するための、リスクマネジメント強化。
- ・県北部の大学、専門学校、高校への採用活動の推進。
- ・職種、役割等で求められる能力、資質向上に向けた研修棟の受講推進。

令和7年度 事業報告書

特別養護老人ホームあかり

高齢化により医療と介護を必要とする高齢者の増加が予想される一方、入居者様、利用者様が多種感染症に罹患することなく、特養の入居稼働率95.1%、ショートステイの稼働率は77.6%となりました。

医療や介護にかかる人材は全国的に大きく不足している中、あかりでは介護職員として4名採用できました。その内1名は初任者研修を取得しながら勤務し、資格取得提携事業所において4か月間の初任者研修取得の研修を終え常勤として勤務しております。

また、今年度も高校や大学、訓練校の実習生の受け入れを行い幅広くアンテナをはり人材の確保を行いました。

将来の事業環境を見据えた全職種に対し、人材の確保と安定した事業運営に努めることができました。

I C Tの導入のタブレット機器の活用により、各部門での連携が順調に行うことができ、業務改善と同時に介護現場の業務生産性の向上が順調に行えております。

また、あらゆる世界情勢の変化や更なる物価高にエネルギー価格の高騰や、予想される甚大なる自然災害である大地震、また、水害に暑さ対策に冬は雪害を含むあらゆる災害。そして多種感染症に対し、常に持続可能な介護サービスの提供ができるよう、BCPに基づき定期消防、避難誘導訓練や水害（垂直避難誘導）・地震災害訓練や多種感染症における訓練は関係機関等と連携し、施設の運営に備えることを責務として取り組みました。

多種感染症の脅威に対し、引き続き感染防止徹底の上、持続可能な介護サービスの提供し、認知症の予防や健康で生活のできる高齢サービスを充実させるとともに、あかり拠点では『医療・介護・介護予防・生活の支援』が高齢者、一人一人の暮らしや生きがいになるように、必要に応じた受け入れの対応や、温かい施設づくりを職員全員の努力で継続しながら取り組みました。

1. 事業報告

●あかり基本理念 第2項『入居者・利用者が主役です』、第3項『地域との共生の場です』並びに第4項の再構築『常に変化し続ける施設です』の基

常にスタッフ間でのサービスの改善やレベルアップに再重点をおきながら、令和7年度は多種感染防止を引き続き最優先に事業運営を行い、また、事故防止、虐待防止徹底、の上、入居者・利用者様が日々の生活にご満足いただけるようなケアの提供に尽力しました。

1. ICT機器の段階的導入や設備等買い替えについて

- ⇒ 業務効率化については、機器類で職員の負担軽減を図りながらも介護ケアの質の向上を図りながら、適材適所への職員の補充は課題となりました。
- ⇒ ロボット等の導入の検討を図りましたが、体制の確立ができず未取得となりました。
- ⇒ 腰痛予防策としてスタンディングリフト導入については助成金応募を継続し、取得したい。
- ⇒ 特殊浴槽の買い替えを行いリニューアルしました。入居者様からもまた、使い勝手も大好評をいただいております。
- ⇒ 送迎車の普通車（車椅子対応）から軽四（車椅子対応）へ買い替えを行い、小回りや利便性を重視し送迎を行っております。

2. 介護人材の育成・確保、職員の資質向上、健康維持、腰痛予防を提供し介護サービスの質の向上について

- ⇒ 新たに介護職員初任者研修取得のサポートの実施に貢献しております。
- ⇒ 介護福祉士実務者研修実習施設としての受け入れの体制確立、実績から。地域福祉を担う人材育成と輩出に貢献しております。
- ⇒ 認定特定行為業務従事者研修開催を施設看護師と連携して実施し、介護職員の取得増加を目指します。また、昨年度より認定特定行為業務従事者1・2号研修開催の実習施設として受け入れ体制確立や、取得の実績からサポートの継続実施。令和7年度は予定通り新規2名が修了しました。
- ⇒ 介護福祉士からのキャリアアップとして、介護支援専門員資格取得を制度から支援
※介護支援専門員（ケアマネージャー）受験サポート継続。
- ⇒ ユニットリーダー研修修了者について、令和7年度中に新規2名修了目標に掲げておりましたが、研修日程が合わず来年度へ持ち越しとなりました。
- ⇒ 各職種における外部研修等の参加推進。（オンライン活用及び現場研修開催分）は特に介護職員が現場や勤務の事情により大半が外部研修を受講できていないため、日程調整や適材に予定を合わせ、来年度へ持ち越しとなりました。
- ⇒ 外国人技能実習生受入れの検討と準備を行う予定であるが、現在は入退職の人員配置が効率良く行うことができおり、更に離職が少ない施設であり今後の課題とします。

3. 安全管理対策について

- ⇒ 感染症BCP、災害に対するBCP（事業継続計画）に基づき、年2回の避難誘導、消火訓練に合わせて行いました。また、自衛消防及び消防署様の指導を受けながら実践的な訓練も定期継続実施しております。
- ⇒ 地元自治体、地域の町内消防団と連携し協力体制づくりの確立が未だ出来ていない

ため速やかに協力依頼を行います。

- ⇒ 地域交流スペース及びあかり 2 階パブリック並びに 3 階を地域の緊急避難所としての活用) また、災害備蓄倉庫内に棚を施工し備蓄品の整理がついた。
職員の誰もが備蓄食品の把握ができ、緊急時に配布できるよう準備しました。
- ⇒ 災害 B C P 定期訓練の実施、避難確保計画に基づき水害、地震災害の B C P 訓練の実施。(水害想定垂直避難訓練実施・地震災害避難訓練実施/年 2 回) 実施しました。
- ⇒ 感染症 B C P 定期訓練の実施(10 月実施) クラスターを想定して実施に課題が残る来年度へ持ち越しとなりました。
- ⇒ A E D 及びタッピング法蘇生訓練を実施し、誤嚥や窒息時対応の定期訓練ができました。(救急救命士及び津山東消防署指導)

4. 介護保険事業の永続的、安定的運営について(介護サービス利用支援)

地域において独居高齢者や要介護者が急増加する中、『認知症予防、自立支援、重度化防止』を重点として、各専門職員による充実した相談窓口を開設し、地域包括や各事業所と連携し感染防止対策の上、あかり地域交流スペースで定期に開催する。主体的に地域の声、悩みに手を差し伸べる共生の場である施設への進化を掲げておりましたが、下記専門職における相談会開催は、多種感染の警戒や各部署や外部への訴求活動ができず、今年度も実施することができていないため、来年度は可能な範囲での計画実行とし、来年度へ持ち越しとしました。

- ⇒ 看護師(地域薬剤師との連携による服薬相談及び研修開催)
- ⇒ 介護支援専門員、生活相談員(短期入所生活、予防介護利用相談及び特養入居相談会開催)
- ⇒ 管理栄養士(食事、栄養カロリー、介護食に関する相談会開催) また、業務委託業者及び食事メーカーも協賛していただく。
- ⇒ 介護士(高齢介護者及び独居高齢者等オムツの選択、オムツのあて方等相談会開催) オムツメーカーも協賛していただく。
- ⇒ 歯科衛生士(口腔ケアの必要性及び口腔ケアの手法相談会実施)
- ※ 法人拠点間連携の強化により、公益情報提供サービスの場として確立する。

5. 関係医療機関との連携及び感染対策について

- ⇒ 津山クリニックや地域医療機関と連携し入居者様(嘱託医定期回診)、利用者様、職員(定期健康診断実施)の健康の維持と健康管理の徹底に努めました。
- ⇒ 歯科による定期的訪問診療や指導に基づく日常の口腔ケアの実施に努め、誤嚥性肺炎の防止や多種感染症の防止に注力しました。
- ⇒ 特にコロナウイルス及びインフルエンザについては、新規入居時や新規ショートステイの利用時は抗原検査の継続を行い、安心・安全を確保した上で利用をいただき

ました。

- ⇒ 職員も同様に施設指示の抗原検査や私用による抗原検査を必要に応じ行い、安心・安全を担保し職務に就くことを継続しました。

6. 栄養の管理について

- ⇒ 食事の内容及び提供の方法は、食事摂取基準を満たす献立になるよう業務委託業者と協力し定期での給食会議や厨房ミーティングにおいて、食事の形態を密に相談し、入居者、利用者様の食事の内容や栄養の充実に注力しました。
- ⇒ 常に情報を共有し改良を繰り返し行いながら入居者、利用者様に安心安全で生活習慣病予防や改善となるよう、心から満足いただける食事を提供しました。
- ⇒ 嗜好調査を実施しその評価分析を用いて利用者の要望にあった食事を提供するように心掛け、誤嚥事故防止にも注力しました。
- ⇒ 嗜好調査を実施し、その評価分析を用いて利用者様の要望に合った食事を提供するように心掛け、誤嚥事故にも注力しました。
- ⇒ 入居者様の栄養状態の維持及び改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、各入所者の状態に応じた栄養管理を計画的に実施することができました。
- ⇒ 衛生的な厨房環境の整備に配慮し、特に食中毒の発生や多種感染のリスクの回避に努めました。

7. ADL維持（機能訓練）へのアプローチについて

- ⇒ 看護職員により個人の状態に適した機能回復訓練を実施し自立支援、重度化予防に役立てました。
- ⇒ 介護職員により、日常生活上の体操、機能訓練やレクリエーション、認知機能減退予防のための訓練等を実施し、また、重度化防止の訓練にも役立てました。

8. 入居者・利用者への処遇について

- ⇒ 満足度アンケートを継続的に2回/年実施し、CSの結果をPDCAサイクルへ用いて運営改善に活かすことができず、来年度は可能な範囲での計画実行とし来年度へ持ち越しとしました。
- ⇒ 家族様と看護職、介護職などの各専門職による多職種間のケアカンファレンス等、情報共有がなされる場をアポイントにより定期的に作り、円滑なコミュニケーションを図り続けます。
家族とのアポイント取得については感染状況及び流行によっては中止とし、電話や手紙にて報告、連絡、相談を密にとり健康状態を報告しました。

9. 地域交流、ボランティアの活用について（多種感染状況によっては中止）

⇒ 学生及び各種ボランティアについては多種感染リスクがあるために、催事を開催できず入居者様、利用者様の自立支援を目的としておりましたが、あかり喫茶等を定期開催し参加可能者の喜びを健康維持につなげました。

10. ユニットケアの確立と特養・ショートステイの効果的活用の推進について

- ⇒ 特養、ショートステイの意義と効果については、地域の在宅介護者に広く周知し、介護上の課題解決のためにあかりを活用いただきました。
- ⇒ 各事業所等へ長期的な予約の利用を推進する事により、ショートステイについてもロングショート利用まで幅広く対応しました。また、新規受け入れ時はコロナ及びインフルエンザの感染防止対策を徹底しました。
- ⇒ 特養月間稼働率98%の目標に対し95.1%（達成率97%）、ショートステイ月間稼働率85%の目標に対し77.6%（達成率91%）の結果となりました。マイナス要因として特養の場合は、入院者の増加及び入院期間増となり、また、ショートステイについては、リピーターの入院等増加が減の要因となり、新規取得を各事業所等へ呼びかけております。

11. 情報発信・共有・広報啓発について

- ⇒ ホームページを活用し、現在の取り組みや各種行事の状況を写真で紹介すると共に、福祉施設としての情報開示を実施しました。また、家族様への各種感染症に関する情報や面会に関する取り組みや、月間レクレーション行事結果等、緊急連絡に活かせるSNSの活用を行い定期案内にて実施促進をしました。
- ⇒ 感染対策の一環として対面面会を継続し、また、タブレット等の活用によるオンライン面会を継続しつつ、感染状況を加味しながら各種感染症の状況に対応した面会方法で、家族様への安心を提供させていただきました。
- ⇒ 岡山県の情報公表システム等を活用し積極的な情報公開をすることで、施設経営の透明性を図りました。

以上、リスクマネジメントの強化など中長期的な重要課題への対応を含め、令和7年度事業も入居者様、利用者様、地域の潜在的な介護需要のある人々のあらゆるニーズに即応できるよう努めました。

今後もあらゆる多種の感染予防を徹底しつつ、あかり高齢者介護事業を活発的に推進し続けます。

2. 年間行事及び各種委員会

(1) 年間レクリエーション行事

多種感染状況の検討し感染防止徹底の上、各ユニットにおいて、下記、年間行事開催を感染することなく全て終え、入居者様、利用者様に大変喜んでいただきました。

行事	内容等
4月 お花見会	あかり桜お花見・お花見弁当
5月 春のドライブ	近隣ドライブ、買い物、自宅支援
6月 運動会	各ユニット運動会開催又地域交流開催検討
7月 七夕	各ユニット短冊設置、七夕三色そうめん
8月 夏まつり	各ユニットゲーム、駄菓子屋台開設・祭食事、地域交流テラス開催検討
9月 敬老会	各ユニット高齢敬老表彰、記念品贈呈式、地域交流開催検討
10月 収穫祭・秋のドライブ	近隣ドライブ、買い物、自宅支援 自立支援、重度化防止を踏まえ畑作業を行う
11月 文化祭	作品作成、展示、あかり喫茶/お茶会の開催、地域交流開催検討
12月 クリスマス会	各ユニット開催、ケーキ作り、Xmasプレゼント、地域交流開催検討
1月 新年会	各ユニット新年挨拶、地域交流開催検討、お雑煮、ぜんざい
2月 節分祭	各ユニット開催豆まき、鬼退治、地域交流開催検討
3月 ひな祭	各ユニット開催お雛様、おやつ作り、地域交流開催検討

(2) 各種委員会及び会議

●メンバー構成●

施設長、看護・介護職長、介護長、看護主任、主任ケアマネ、事務主任、生活相談員、管理栄養士、各ユニットリーダー、介護スタッフ。

各委員会においてメンバー構成し定期開催を行いました。委員会、会議、研修の開催はその開催時期の近隣における多種感染状況を確認しながら開催し、また、開催中止とする場合は書面による回覧としました。

メンバー構成された各委員会を定期開催にて実施

会議	目的
・職員連絡会議 週 1 回/第 1 水曜	運営に関する重要事項の共有及び施設内懸案、検討事項等
・事故防止対策委員会 週 1 回/第 1 水曜	ヒヤリハット報告、検証、検討、再発防止等 研修 2 回/年
・感染防止対策委員会 週 1 回/月・第 1 水曜	各種感染症対策、報告、予防等感染防止徹底 研修 2 回/年
・給食委員会（給食会議） 週 1 回/第 2 月曜	入居者・利用者の健康状態に合わせた食事に関する一切を委託業者と連携確認又行事食やおやつに反映した美味しい食事作り
・身体拘束廃止委員会 年 2 回/随時	身体拘束に関する周知確認、報告、相談等 研修随時
・虐待防止委員会 週 1 回/第 1 水曜	虐待防止に関する周知確認、報告、相談等 研修随時
・看取り委員会 週 1 回/第 1 水曜	P D C A サイクルの確認、看取りの在り方・家族現状 心情の報告
・入居判定会議 週 1 回/第 4 月曜	申込者の A D L、状況報告、確認、検討、意見交換、 判定
・レクレーション委員会 週 1 回/随時	毎月の行事に沿い開催（市中等コロナ感染状況検討 要・場合により各ユニットにおいて開催）
・褥瘡予防対策委員会 週 1 回/随時	褥瘡予防に関する検証及び検討、介護報酬 L I F E 褥 瘡マネジメント加算の新規取得 研修 2 回/年
・苦情処理委員会 随時	入居者・利用者の声、家族の意見交換、アンケートの 実施、アンケート B O X 回収
・第三者委員会 年 2 回/9 月・3 月	法人、各拠点の事故報告、事業計画、事業報告等 各委員会等報告他
・腰痛予防対策委員会 随時	介護職員腰痛予防対策の安全対策の報告、提案等
・ミールラウンド 週 1 回/各金曜	口腔ケア指導、入居者健康維持の確認等
・安全推進委員会 週 1 回/第 1 水曜	施設管理、規定類周知、各種委員会確認、感染症及び 災害防止、訓練等、研修 2 回/年
・入浴委員会 月 1 回	個浴・特浴についての効率化、体調の異変・早期発見、 改善策、手法等検討

・排泄委員会 月 1 回	オムツ、排泄についての改善、手法検討等、介護報酬 L I F E 新規排泄支援加算の取得
・口腔ケア委員会 月 1 回	口腔ケア指導について検討等、介護報酬 L I F E 取得 に向け新規口腔衛生管理加算の取得
・環境委員会 月 1 回	環境整備、風紀等、施設内に関する事項検討、対策、 立案等

3. 公益的取り組み

- 令和4年発足の勝央町社会福祉法人連絡会、名称「勝央町福祉ネットワーク金時」（勝央町内あかり含む五つの社会福祉法人）との、共同公益活動によるネットワークにより、公益的取り組みとして地元の小学校への高齢者疑似体験や災害備蓄の整理、整頓や他法人との連携手法を学びながら、令和7年度も公益活動を実施しました。

また、高齢化が進む中、地域共生社会と地域包括ケアシステムの深化・推進・確立の一環となるように、高齢者が地域社会に求められる「支え合い」「健康・元気・生き甲斐」「安心・安全」のお手伝いや、特に社会問題とも言える独居高齢者における生活の「見守りサービス」や近年季節を問わず各地で起きている大災害をキーワードとした、強固な体制づくり・街づくり、施設づくりの実現へ向け、一步一步、取り組みを確立しております。

1. 施設事業運営

(1) サービス区分

① 特別養護老人ホーム

高齢により身体または精神上に著しい障害があり、常時介護が必要かつ居宅での介護が困難な方へ入所サービスを提供しました。

また、新規入居者様の受け入れは、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、令和7年度も施設独自に抗原検査を実施した上で、安全にご入居いただきました。

また、特養並びにショートステイにおいて、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ感染症拡大防止対策として、陰圧装置を1日あたり8時間、365日稼働することにより、多種に渡る感染症拡大を阻止することができ、職員一丸となり大きな介護事故もなく質の高い介護ができました。

また、外部との接点として、地域包括及び各介護事業所との連携も多種感染症防止対策を施した上で、可能な範囲で連携推進を図りながら、新規入居者様や利用者様が円滑にご利用いただけるよう協力いただきました。

最後に、社会福祉法人の公益的取り組みの実施や、地域福祉法人で構成する『勝央町福祉ネット金時』の連携により、地域の社会福祉に貢献できるよう活動しました。（内容は下記（10）の2、公益活動における地域貢献のとおり）そして、地域包括ケアの

構築を目指して事業活動に取り組みました。

1年間を通して特養入居の平均稼働率はコロナ罹患者及び季節性インフルエンザはゼロと感染防止策は万全ですが、入居者様の高齢化による入院の増加により95.1%の実績に終わりました。稼働率は前年度比100%と介護報酬収入では前年度と同水準でおさまりました。

② ショートステイ

ショートステイは、介護予防及び要介護認定を受けている在宅の高齢者に対し、家庭介護が困難な方を受入れ、介護者の負担軽減を図るといった在宅介護の本質的な役割を果たしました。

また、ロングショートステイの利用に加え、ユニット職員がこれまで蓄積した介護力を発揮し利用者様を選ばない幅の広い受け入れが実績に作用しております。

令和7年度ショートステイ利用の平均稼働率は77.6%の利用実績となりました。

介護報酬収入では前年度とほぼ同様に実績を残すことが出来ましたが、稼働率では前年度比97.9%となりました。

コロナウイルスの抗原検査及び季節性インフルエンザ検査に関しては、令和7年度も特養のみならず、ショートステイでも新規利用者及びリピートによる定期利用についても利用時は毎回必須として検査を実施し、安心・安全を担保に利用いただきました。ショートステイ利用時：令和7年度利用時抗原検査数（631名／年）昨年の倍の検査を行うことにより、コロナが5類に移行されてから現在も地域の社会福祉インフラとして「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」また、「手洗い」「うがい」「マスク」「換気」をモットーに職員に周知し、多種の感染防止対策が行き届いた、安心・安全な施設運営を行っております。

（2）特養・ショートステイ利用者数

① 特別養護老人ホーム

定員50名	年間延べ利用者数	17,357名（前年度比99.9%）
	1日平均	47.6名（前年比99.9%）
	月間平均利用者数	1,446名（前年度比99.9%）
	月間平均稼働率	95.1%（前年度比100%）

② ショートステイ

定員10名	年間延べ利用者数	2,831名（前年度比98.0%）
	月間平均利用者数	236名（前年度比98.3%）
	月間平均稼働率	77.6%（前年度比98.0%）

③ 入所者の状況

- ・各月末入所者数の年間合計 591名（月平均49.3名）（前年度比100.2%）
- ・各月末入院者数の年間合計 35名（月平均2.9名）（前年度比96.7%）
- ・新規入所者数の年間合計 21名（月平均 1.8名）（前年度比105%）
- ・退所者数の年間合計 21名（月平均 1.8名）（前年度比105%）

	月末入居者数	入院者数	新規入居者数	退去者数
4月	50	4	1	1
5月	49	4	0	1
6月	50	2	2	1
7月	49	2	1	2
8月	50	3	1	0
9月	50	2	2	2
10月	49	2	1	2
11月	49	4	2	2
12月	49	5	4	4
1月	47	4	2	2
2月	49	1	4	4
3月	50	2	1	1
合 計	591人	35人	21人	21人

④ 特養・年齢別・性別の状況（下図－令和8年3月31日現在）

年 齢	65歳	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95歳		平均
性別	未満	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	以上	計	年齢
男性	0	0	0	4	2	2	3	4	15	88.9歳
女性	0	0	0	0	3	9	9	14	35	92.7歳
計	0人	0人	0人	4人	5人	11人	12人	18人	50人	91.6歳

⑤ 令和7年度末 特養・要介護度別の状況（下図）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	0人	0人	0人	7人	25人	18人	50人

（３）利用者サービス

●健康管理

- ① 津山クリニック嘱託医とあかり双方の看護師が密に連携し、健康管理の充実を図りました。また、インフルエンザワクチン接種やコロナワクチン（有料）接種９回目、を希望される入居者様と職員の接種を完了しました。
- ② 協力歯科医師の往診、歯科医師と歯科衛生士による口腔ケア及び口腔ケア指導・研修に注力しました。長期的な効果として、引き続き誤嚥性肺炎のリスクが軽減されました。口腔ケアの充実は感染予防としての側面や効果に繋がる事を研修で習得し、コロナウイルス感染症予防策としても口腔ケアに注力しました。
- ③ 多職種連携での感染防止対策委員会並びに職員連絡会議開催の中で、感染症対策に注力した結果、令和７年度もコロナのみならず、インフルエンザ等を含めた多種全ての感染症について、常に感染予防策の周知徹底に努め施設入居者、利用者様の健康と生命を守る一方、職員の感染リスクを低減させるよう、全職員が力を合わせ、感染予防と手厚いケアの両立を協力しながら取り組みました。

（４）行事、レクリエーション、地域交流等、ボランティア行事

下記、全ての開催においては、コロナ及びインフルエンザの感染防止対策を講じながら実施し、対策を詳細に伝達しています。（但し、開催を中止する場合もありました。）

●年間定例行事（ボランティア行事含む）

- ・毎月定例－運営会議／２回、入居判定会議／１回、口腔ケア指導／４回、職員連絡会議、看取り委員会、事故防止委員会、安全対策委員会、虐待防止委員会、身体拘束廃止委員会、褥瘡予防対策委員会、衛生委員会／各１回、給食会議／１回、理美容／１～２回、レク委員会／１回、嘱託医回診１回（５０名）、石井会計月次会計報告実施／１回、等、
- ・４月度－レク行事「お花見・お花見弁当会／感染防止徹底により施設内各ユニットにおいて実施」開催、定期貯水槽清掃、腰痛予防研修（外部）
第１回藤暢会理事会開催、美作市議会議員不在者投票、あかり喫茶開催
- ・５月度－あかり開設お弁当、すみれ会環境整備、レク行事「春のドライブ実施（対

象者、場所、手法は要相談の上、実施)」、藤暢会監事監査、北部訓練校実習生4名受け入れ実施、あかり喫茶開催、定期玄関ドア点検、理美容、第2回藤暢会理事会、第1回消防避難・消火訓練及び災害避難誘導訓練及びAED 蘇生・ハイムリッヒ・タッピング法実施、美作高校3名／3年生実習受入、第1回藤暢会評議員選任解任委員会

- ・6月度ー レク行事「各ユニット運動会実施／感染防止徹底の上、実施」、定期全館停電点検、あかり喫茶（大判焼き）、第1回藤暢会評議員委員会、第3回藤暢会理事会開催、美作大学管理栄養科2名／3年生実習受入、第1回定期消防設備点検、入居者様百歳の祝い会、外部研修
- ・7月度ー レク行事「各ユニット七夕会／感染防止対策の上、実施」、出店・かき氷、綿菓子、ゲーム等提供／入居者様・利用者様・職員、金時ネット（公益取り組み）、第1回喀痰吸引2号研修2名実施、外部研修、夏季賞与支給、参議院選挙通常選挙不在者投票、美作高校1名／2年生介護実習受入、第2回喀痰吸引2号研修2名実施、美作高校1名／2年生介護実習受入、労働基準監督署指導監査、定期水道水質検査
- ・8月度ー レク行事「各ユニット夏まつり／感染防止対策の上、開催」、第3回喀痰吸引2号研修2名実施、施設内カーテン入れ替え、定期エレベーター点検、荷物昇降機定期点検、第4回喀痰吸引2号研修2名実施、職員慰労会
- ・9月度ー レク行事「各ユニット敬老会及び表彰／感染防止対策の上、開催」、美作高校1名／2年生介護実習受入、第5回喀痰吸引2号研修2名実施、あかり喫茶開催、敬老弁当、第1回安全対策及び事故防止対策職員伝達研修
- ・10月度ー レク行事「秋のドライブ感染防止対策の上、実施（対象者、場所、手法は要相談の上、実施)」、外部研修第1回ユニ・チャーム、美作保健所監査（厨房）、災害備蓄品職員試食会、外部研修第1回ユニ・チャーム、美作高校1名／3年生介護実習受入
- ・11月度ー レク行事「文化祭作品展示／各ユニット、すみれ会慰労会（芋料理提供）、定期エレベーター点検、おやつつくりピザ焼き提供、職員生活習慣病予防検診、上半期第1回第三者委員会開催、第2回消防避難誘導訓練及び災害垂直避難誘導訓練（あかり BCP）、美作高校3名／3年生介護実習受入 第9回目有料コロナワクチン接種希望者実施（入居者様・役職員）、第7

藤暢会理事会開催、

- ・ 1 2 月 度－レク行事「各ユニットクリスマス会～2 5 日、感染防止対策の上、実施」、第 2 回藤暢会評議員会、美作高校 1 名／3 年生介護実習受入、定期ガス点検、冬季賞与支給、美作県民局指導監査、第 2 回定期消防設備点検、勝央町民生委員慰問
- ・ 1 月 度－レク行事「各ユニット新年会、感染防止対策の上、実施」、令和 8 年藤暢会新年互例会、美作高校 1 名／2 年生介護実習受入、企業より車椅子寄贈贈呈、あかり喫茶開催
- ・ 2 月 度－レク行事「各ユニット節分祭、感染防止対策の上、実施」、定期エレベーター点検、助成贈呈式、津山市長、市議会議員補欠選挙、衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査
- ・ 3 月 度－レク行事「各ユニットひな祭、感染防止対策の上、実施」、定期エレベーター点検、助成贈呈式、津山市長、市議会議員補欠選挙、衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査不在者投票、第 8 回藤暢会理事会、外部褥瘡予防研修、美作高校 1 名／2 年生介護実習受入、美作市長選挙不在者投票、第 3 回藤暢会評議員会、インフルエンザワクチン接種実施（入居者様・役職員）

（5）職員待遇及び職員採用・退職の状況（令和 8 年 3 月 3 1 日現在）

●職員	●常勤数	●非常勤数
嘱託医（津山クリニック）	1 名	1 名
施設長	1 名	
事務主任	1 名	
介護・看護職長		1 名
看護主任	1 名	
看護師		5 名
介護長		1 名
介護職員	2 3 名（内介護福祉士 2 1 名）	1 2 名（内介護福祉士 7 名）
* 認定特定行為業務従事者（第 2 号） 1 2 名／2 8 名中		
主任・介護支援専門員	1 名	1 名
生活相談員	2 名	
管理栄養士	1 名	1 名
歯科衛生士		1 名

宿直員		2名
運転員		2名
清掃員		1名
計	31名	28名

●下図一（令和6年度末から令和7年度末現在と令和7年度採用、退職等小計）

	施設長	事務員	生活 相談員	介護 支援 専門員	介護 職員	看護 職員	管理 栄養士	嘱託医	宿直他	合計
令和6年度職員数	1人	1人	2人	1人	35人	7人	2人	1人	7人	57人
採用	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5人
退職	0	0	0	0	-2	-1	0	0	-1	-4人
業務異動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
令和7年度末小計	1	1	2	2		6	1	1	4	58人

●定年退職者 0名（令和7年度再雇用予定0名）

●実務者研修終了者 0名

●介護福祉士合格者 0名

●認定特定行為業務従事者（第2号）修了者 2名

●健康管理

年2回の健康診断の実施。津山クリニック医師、看護師による健康指導を行いました。

●労務管理

管理者、役職者による定期個別面談を行い、きめ細やかな意思疎通を図りました。

●職員外部研修及び会議等

（全国老人福祉協議会、全国経営者協議会、岡山県主催、岡山県社会福祉協議会、岡山県看護協会、岡山県介護福祉士会、岡山県ケアマネ協会、各市町村主催、他主催等）

当初に予定されていた研修は、令和7年度は、各機関開催の研修全般が会場参加型になり、また、リモート研修も多数開催がありました。

また、下記とおり多種感染防止の観点から研修参加を行いました。

対象職種	時期	場所	研修者	内容
施設長	R7.5.10	津山	有田 卓司	県老協/国政報告会
	R7.6.12	特養のどか		社会福祉法人桜楽会評議員会
	R7.7.8	美作高等学校		津山圏域企業出前説明会
	R7.7.23	勝央町		勝央町民生委員推進会
	R7.8.29	7か所施設、病院見学		食料備蓄情報交換会

施設長	R7.9.12	美作保健所勝英支所	有田 卓司	給食施設管理者研修会
	R7.10.3	勝央町保健福祉センター		第1回勝央町保健福祉推進委員会
	R7.10.21	勝央町保健福祉センター		R7年度感染症対策研修会
	R7.10.29	津山市		公正採用選考人権啓発推進員研修会
	R7.12.7	美作大学		防災、防犯フェスティバル 2025
	R8.1.14	美作高校		就職内定懇談会
	R8.3.17	ON－LINE あかり		R7年度事業者集団指導
	R8.3.17	勝央町保健福祉センター		第2回勝央町保健福祉推進委員会
事務主任	R8.3.17	ON－LINE あかり	児島 明人	R7年度事業者集団指導
主任 介護 支援専門員	R7.3.21	美作市	佐藤 建子	美作市介護支援専門員研修会
	R7.12.5	勝央町		第2回多職種連携研修会
	R8.1.29	ON－LINE あかり		主任ケアマネ委員会研修会
生活相談員	R7.12.5	勝央町	西本 弘樹	第2回多職種連携研修会
生活相談員	R8.2.3	ZOOM あかり	赤堀 千春	岡山県高齢者虐待防止研修
介護支援専門員	R8.2.3	ZOOM あかり	舩曳 尚美	岡山県高齢者虐待防止研修
管理栄養士	R7.8.29	7 か所施設、病院見学	押田 隆範	食料備蓄情報交換会
	R7.9.12	美作保健所勝英支所		給食施設管理者研修会
ユニット リーダー 並びに 介護士 及び ユニット サポート	R7.5.29 ～8.28	倉敷ハートスイッチ	赤崎 玲子	介護職員初任者研修（毎週木曜日） から合計 14 回受講
	R7.7.4	あかり地域交流	鳥越 由美	第1回喀痰吸引2号基本研修
	R7.7.18		杉山由希子	第2回喀痰吸引2号基本研修
	R7.8.8			第3回喀痰吸引2号基本研修
	R7.8.29			第4回喀痰吸引2号基本研修
	R7.9.5	岡山		第5回喀痰吸引2号基本研修
	R7.8.19		栃岡 友里	介護福祉士実習指導者講習会①
	R7.8.20		片田 陽子	介護福祉士実習指導者講習会②
	R7.9.4			介護福祉士実習指導者講習会③
	R7.9.5			介護福祉士実習指導者講習会④

●施設内職員研修（感染防止対策徹底の上、開催）

R7.04.08 ・（業者）腰痛予防研修／排泄H a g T I デモ機（ユニ・チャーム株）

R7.06.26 ・ブドウ開催高齢者虐待防止委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員

R7.06.26 ・ブドウ開催身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員

同上、イチゴ R7.07.03、フジ R7.07.04、モモ R7.07.07、ナシ R7.07.23、カキ R7.07.31

R7.06.27 ・第1回拘縮等研修／講師ユニ・チャーム株

R7.07.09 ・第2回拘縮等研修／講師ユニ・チャーム株

- R7.08.06 ・高齢者虐待防止委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R7.08.06 ・身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R7.09.03 ・第1回安全対策委員会研修／職員連絡会議
- R7.10.03 ・おむつのあて方・はき方等職員／講師ユニ・チャーム㈱
- R7.10.30 ・おむつのあて方・はき方等職員／講師ユニ・チャーム㈱
- R7.11.05 ・高齢者虐待防止委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R7.11.05 ・身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R7.01.19 ・布団寝圧測定他職員／講師東洋羽毛
- R8.01.07 ・高齢者虐待防止委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R8.01.07 ・身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R8.02.25 ・第1回口腔ケア指導職員研修／講師飯田歯科衛生士
- R8.02.26 ・第2回口腔ケア指導職員研修／講師飯田歯科衛生士
- R8.03.08 ・第2回安全対策委員会研修／職員連絡会議
- R8.03.05 ・褥瘡（床ずれ）指導、褥瘡対策職員研修／講師モルテン、猪子看護主任
- R8.03.25 ・布団寝圧測定、展示職員研修／講師東洋羽毛
- R8.03.27 ・第1回事故防止研修／講師あいおい同和損保代理店
- R8.03.30 ・第2回事故防止研修／講師あいおい同和損保代理店

施設管理（固定資産）

① 令和7年4月7日第1回書面議決承認済（リース取引）

<オージー技研㈱製商品/㈱津山エムアイ>

- ・昇降式介護浴槽オンラインバス（ジュスト）価格：4,050,000円
- ・電動昇降ストレッチャー（片袖タイプ）RA-255S
 - 1台 1,350,000円×2台 価格：2,700,000円
- ・担架（デラックス）RA-355S 1台 855,000円×2台
 - 価格：1,710,000円
- ・搬入設置費一式88,000円 ・送料一式50,000円
 - 価格：138,000円
 - 値引：-98,000円
- ・小計（税抜き）8,500,000円
- ・消費税 850,000円
- ・合計 9,350,000円

<中銀リース㈱内容>

- ・毎月のリース料金：111,300円 消費税：11,130円
 - 合計：122,430円
- 総支払合計10,284,120円

- ・リース期間：８４ヶ月 支払い回数８４回
- ・再リース料：１３３，５６０円（消費税別） ・令和７年４月２２日設置完了使用開始

- ・施設内：看護室エアコン取替
商品：天井埋込カセット形ダブルフロータイプ（ダイキン）１台
価格：３８７，７５０（税込）購入業者：株式会社ガット（令和７年７月４日納期）

- ・施設内：厨房内トイレウォシュレット取替
商品：ウォシュレット（リモコン洗浄）１台 価格：１２３，２００（税込）
購入業者：タカラ産業株式会社（令和７年７月９日納期）

- ・施設内：フジユニット内トイレウォシュレット取替新設
商品：ウォシュレット（リモコン洗浄）１台 価格：１０７，８００（税込）
購入業者：タカラ産業株式会社（令和７年７月２８日納期）

- ・施設内：モモユニット入居者居室（コ）エアコン取替
商品：ダイキンエアコン１台 価格：１４３，４９０（税込）
購入業者：エディオン美作店（令和７年８月６日納期）

- ・施設内：相談室（入職者用）業務パソコン
商品：富士通ノートパソコン１台 価格：１４３，４９０（税込）
購入業者：アマゾンジャパン合同会社（令和７年８月７日納期）

- ・施設内：イチゴユニット入居者居室（ク）エアコン取替
商品：ダイキンエアコン１台 価格：１４８，１１０（税込）
購入業者：エディオン美作店（令和７年８月１８日納期）

- ・施設内：ブドウユニット洗面化粧台（小型温水器）取替
商品：小型電気温水器１台 価格：１９３，６００（税込）
購入業者：タカラ産業株式会社（令和７年８月１８日納期）

- ・施設内：ナシユニット入居者居室（エ）エアコン取替
商品：ダイキンエアコン１台 価格：１４８，１１０（税込）
購入業者：エディオン美作店（令和７年８月２３日納期）

- ・施設内：厨房内調理用ブレンダー（劣化）取替

商品：アサヒスーパーブレンダー１台 価格：１４０，８００（税込）

購入業者：総合厨房株式会社（令和７年１０月２０日納期）

- ・令和７年度第６回理事会（書面議決）リース取引（令和７年１０月６日）

＜購入先・支払方法＞

岡山県美作市朽木１０１ 有限会社河本自動車より購入し支払い方法はリース

価格：１４１，８９０円（税込）

購入業者：エディオン美作店（令和８年１月２９日設置）

- ・施設内：ナシユニット入居者居室（ア）エアコン取替

商品：ダイキンエアコン１台

価格：１４８，４９０円（税込）

購入業者：エディオン美作店（令和８年２月５日設置）

- ・施設内：モモユニット入居者居室（ア）エアコン取替

商品：ダイキンエアコン１台 価格：１４８，４９０円（税込）

購入業者：エディオン美作店（令和７年１２月６日設置）

- ・施設内：ナシユニット入居者居室（オ）エアコン取替

商品：ダイキンエアコン１台 価格：１５７，５００円（税込）

購入業者：エディオン美作店（令和７年１２月２８日設置）

- ・施設内：イチゴユニット入居者居室（エ）エアコン取替

商品：ダイキンエアコン１台 価格：１３８，４９０円（税込）

購入業者：エディオン美作店（令和８年１月１７日設置）

- ・施設内：ブドウユニット入居者居室（ク）エアコン取替

商品：ダイキンエアコン１台 価格：１４１，８９０円（税込）

購入業者：エディオン美作店（令和８年１月２８日設置）

② 実習生受入れについて

岡山県立北部高等技術専門校 ケアサービス科の実習生（２回／年間受入れ）

については１回目の５月には４名の実習生を受入れ開催しました。

また、２回目の１１月は実習生徒数が少なく、あかりへの受入れはありませんでした。

美作大学生活科学部食物学科実習生（１回／年間受入れ）６月に感染対策の上、２名の実習生を受入れ開催しました。

今年度より美作高校介護実習生3年生を3名、5月から6月と12月に受入をし、また、同美作高校介護実習生2年生を1名、7月と9月と12月と1月に感染対策の上、受入れ開催しました。

(8) 2025年、夏のボランティア並びにインターシップ受入れについて
施設希望者はありませんでした。

(9) 研修機関取り組みとして

介護職員実務者研修終了課程取得に向けた研修は今年度希望者がありませんでしたが、認定特定行為業務従事者（第2号）喀痰吸引基本研修の開催を専門研修機関である、倉敷市の社会福祉法人内業者様と提携し、令和7年度もあかりを県北部の研修会場として感染対策を行いながら引き続き地域貢献として地域交流スペースを会場として提供しました。

内・外部の研修希望介護士が参加し、喀痰吸引等（2号）基本研修（あかり職員2名受講）を開催することができました。

(10) 公益活動における地域貢献として

勝央町内にある5福祉法人で活動する「勝央町福祉ネット金時」の連携により、地域の社会福祉に貢献できる活動や多様なボランティア活動の実施により、地域包括ケアの構築を目指し、地域貢献活動を行いました。特に小学校での福祉体験出前講座の開催も恒例となりました。

また、近年の起きうる甚大なる災害に備え、勝央町との連携による災害ボランティアセンター設置訓練や保健所の指導の基、災害備蓄について自助共助をエリア内との連携を目標に、先ずはお互いの備蓄倉庫（備蓄品）を参考に改善等に役立てました。

高齢者福祉の理解や高齢者の実情について訴求することができました。内容は下記とおりとなります。

令和7年度 勝央町福祉ネット金時事業報告

1. 会議の開催 出席者－施設長 有田卓司

事項	日程	場所	内容など	参加人数
総会	R7.5.8	あかり	・令和6年度事業報告 ・令和6年度会計報告 ・監査報告 ・令和7年度事業計画 ・令和7年度予算	8

			・座談会	
役員会	R7. 7. 3	福祉 センター	・災害対策事業について ・食材備蓄について ・美作大学 VC 結成 20 周年記念 イベントについて	4
役員会	R7. 10. 14	あかり	・美作大学 VC 結成 20 周年記念 イベントについて ・職員研修について ・災害対策事業について	5
監査	R8. 4. 21	あかり	・令和 7 年度会計監査	3
役員会	R8. 4. 21	あかり	・令和 8 年度総会について	4

2. 事業の実施・参加

事項	日程	場所	内容など	主催	参加人数
災害時の協力に 関する協定の 締結	R7. 5. 8	—	災害時の協力体制 および災害 VC の協 力体制に関しての 協定を締結	勝央町福祉 ネット金時 など	—
災害時支援資機 材寄付の受入	R7. 6. 16 ～6. 27	各法人にて 実施	災害 VC で活用する ための資機材の寄 付受入	勝央町福祉 ネット金時	—
	R7. 12. 7	南光荘	災害 VC 用資機材格 納用の倉庫設置	勝央町福祉 ネット金時	—
食材備蓄に関し ての情報交換会	R7. 8. 29	各施設	各施設での備蓄食 料の見学および情 報交換	勝央町福祉 ネット金時 など (※1)	9
災害時等給食施 設相互支援 NW 情報交換会	R7. 9. 12	美作保健所 勝英支所	勝英地域の給食施 設の NW 形成につい ての情報交換会	美作保健所 勝英支所	18
災害時等給食施 設相互支援 NW 情報交換会	R7. 11. 27	美作保健所 勝英支所	勝英地域の給食施 設の NW 形成につい ての情報交換会	美作保健所 勝英支所	9
防災防犯フェス ティバル 2025	R7. 12. 7	美作大学	勝央町福祉ネット 金時の事業紹介	美作大学	約 500
福祉体験	R7. 11. 27	勝央北	高齢者体験	勝央北小学	約 40

出前講座		小学校		校 6 年生・勝 央町社会福 祉協議会な ど	
福祉体験 出前講座	R8. 1. 21	勝央北 小学校	車いす体験	勝央北小学 校 5 年生・勝 央町社会福 祉協議会な ど	約 40
福祉体験 出前講座	R8. 2. 2	勝間田 小学校	車いす体験	勝間田小学 校 5 年生・勝 央町社会福 祉協議会な ど	約 70

2. ※ 1 ・福祉ネット金時会員以外に

さとう記念病院老人保健施設、なぎみ苑、奈義町社会福祉協議会が参加。

令和7年度 事業報告書

津山クリニック

概要

平成30年のクリニック開設から8年が経過しました。公益事業として地域密着と地域貢献を掲げクリニックの運営を行ってきました。

令和2年の新型コロナウイルス初感染確認から6年が経過しましたが、多様化する各感染症が猛威を振るう中、可能な限りの感染防止対策を行いながら、途切れることのない安定した地域医療サービスを提供しました。

乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の患者様が利用されています。当クリニックの基本理念として掲げていた、地域のかかりつけ医としての「保健室」のような存在であることを常に目標とし事業活動を行いました。

事業運営

① 新型コロナウイルス感染症等対策（5類移行後）、各種感染症対策

新型コロナウイルス感染症、多様化する各種感染症対策については、職員を含めた検温実施を徹底し、発熱症状のある患者様の個別対応を行うことにより、一般患者様との接触を回避し感染拡大防止を行いました。

新型コロナウイルスのワクチン接種については、有料となりましたが、積極的に推進し、地域の感染予防、感染拡大防止に尽力しています。

② リウマチ専門外来

特定日にリウマチ専門外来を設置しています。

リウマチに悩む患者様に寄り添い、高度かつ専門的な医療を提供する中、数多くの喜びの声、感謝の声が寄せられています。各医療機関からの紹介やクチコミを含め、リピーターを掴んでいます。

③ 軽度認知障害検査（MCI）

健常者と認知症の中間段階である、軽度認知障害の検査促進を行っています。

軽度認知障害段階において、適切な予防や治療を行えば、認知症そのものの発症を遅らせる効果が期待できます。今後も注力し、その後の受診に繋がりたいと考えております。

④ 他拠点との連携

社会福祉法人藤暢会の医療部門を担うクリニックとして、「特別養護老人ホームあかり」の入居者様と職員、「東和ほほえみ保育園」の職員、その他関係者について、希望者全てにコロナワクチンやインフルエンザワクチンの接種を実施し、法人全体に貢献しました。

⑤ 研修

地域医療福祉の担い手として、自己研鑽を図り、高いレベルの医療サービスを行うための学会や、研修への参加を積極的に実施し、新しい知識の医療現場への還元に努めました。

1日あたりの来院患者数推移

患者数/1日あたり(人)

	前期実績	当期実績	増減	増減率
4月	128.8	126.8	-1.9	98.5%
5月	138.7	134.2	-4.5	96.8%
6月	133.6	128.4	-5.2	96.1%
7月	129.3	130.3	1.1	100.8%
8月	142.3	131.5	-10.8	92.4%
9月	136.5	128.4	-8.2	94.0%
10月	133.6	138.1	4.5	103.3%
11月	139.7	133.3	-6.4	95.4%
12月	140.4	123.3	-17.2	87.8%
1月	146.7	121.8	-24.9	83.0%
2月	142.1	124.6	-17.4	87.7%
3月	129.2	116.7	-12.5	90.3%
平均	136.4	128.1	-8.3	93.9%

令和7年度 事業報告書

東和ほほえみ保育園岡山

＜概要＞

企業主導型保育事業として、保育指針に則り、企業(東和薬品株式会社)の従業員の働きやすい職場環境づくりを支援するため、また、地域住民の子育てサポートを行うことを目的として保育事業に取り組みました。

感染症対策の実施については、当園としては、園内での感染拡大を防止するため、空気清浄機の使用や玩具、保育室の消毒などでの環境整備、園児とご家族、職員と同居家族の体調チェックカードを継続して実施。園児の発熱後24時間の自宅待機依頼と発熱時の受診協力依頼等も継続して実施しました。感染症対策委員会では感染症についての情報を共有し、感染症拡大防止の取り組みを徹底しました。園内での大きな感染症流行もありませんでした。

また、年間安全計画に基づき、計画に沿って安全教育及び各活動を実施。毎月の安全対策委員会で、園の事故防止マニュアル、事故発生時マニュアルを再検討し、職員間で共有しました。保護者にも園の安全についてご理解いただけるよう、入園進級式や掲示、お便り等での説明機会をもちました。保育園の安全、安心な運営の為、この活動を行いました。

1. 施設運営方針

保育理念 「個を大切にし、丈夫な体と豊かな心を育てる」

保育方針 「一人ひとりの子どもの個性を大切にします」

「遊びを通して、基礎的な体づくりに取り組みます」

「家庭との連携を大切にし、子どもの成長を見守ります」

保育目標 「たくましい子」「素直な子」「思いやりのある子」「考える子」

2. 施設概要

事業内容	企業主導型保育事業
定員	30名 (企業枠は3名以上、地域枠は定員の50%まで受入れ可能)
受入れ年齢	0歳児(生後6か月)～5歳児

開 園 日 数	週 6 日（日・祝日は休園、但し東和薬品（株）岡山工場開業日の祝日は開園）
開 園 時 間	基本保育時間 7：30～18：30
提供サービス	延長保育（18：30～19：30） 体調不良児保育（看護師退職により途中から停止） 一時預かり保育
そ の 他	子育て相談 等

3. 職員待遇

《 常勤 》

園 長 1 名 主 任 1 名 保育士 7 名 看護師 0 名（途中退職）
調理師 1 名 連携推進員 1 名 栄養士 1 名 計 1 2 名

《 非常勤 》

保育士 2 名 調理師 1 名 計 3 名

4. 園児数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
園児数（名）	1 6	1 8	1 9	1 9	1 9	2 0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数（名）	2 0	2 0	2 0	2 2	2 2	2 1

《 年齢・クラスの内訳 》

クラス名	年 齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ぱんだ組	3 歳児（名）	0	0	0	0	0	0
うさぎ組	2 歳児（名）	5	5	6	6	6	6
りす組	1 歳児（名）	1 0	1 1	1 1	1 1	1 0	1 0
ひよこ組	0 歳児（名）	1	2	2	2	3	4
合 計（名）		1 6	1 8	1 9	1 9	1 9	2 0

クラス名	年 齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ぱんだ組	3 歳児（名）	0	0	0	0	0	0
うさぎ組	2 歳児（名）	6	6	6	6	6	6
りす組	1 歳児（名）	1 0	1 0	1 0	1 1	1 1	1 1
ひよこ組	0 歳児（名）	4	4	4	5	5	5
合 計（名）		2 0	2 0	2 0	2 2	2 2	2 2

5. 年間行事

月 日	行 事 内 容	参 加 人 数
4 月 2 5 日 (土)	入園進級式	親子 1 2 家庭
6 月 7 日 (土)	普通救命講習 I	職員全員
6 月 7 日 (土)	口育活動講和	職員全員
7 月 5 日 (土)	七夕まつり	親子 1 7 組
6 月 4 日 (水) ～ 9 月 1 6 日 (火)	水遊び・感覚遊び	全園児対象 (各クラスで)
1 0 月 1 日 (水)	ポニーとのふれあい体験	全園児対象
1 0 月 1 1 日 (土)	親子ふれあいデー ファーマーズマーケット・ノースビレッジ	1. 2 歳園児対象
1 1 月 1 2 日 (水)	児童育成協会立入監査	児童育成協会監査員
2 月 1 4 日 (土)	参観日	全親子対象
1 2 月 2 3 日 (火)	クリスマス会	在園児 (各クラスで)
2 月 3 日 (木)	県民局立入監査	県民局監査員
2 月 1 4 日 (土)	参観日	全親子対象

※その他 毎月実施：誕生日会、身体測定、避難訓練

6. 給食

園児の活動の源である給食は、栄養士が作成した献立を基に、食材はできるだけ国産の材料を使用し、旬のものを取り入れながら、園内調理で主食・汁物・主菜・副菜を揃えた給食を実施しています。

好き嫌いがあっても一口から食べられるように、調理方法にも工夫を凝らしています。

■ 食育活動

毎月 1 9 日を「食育の日」とし、親子で食べ物について話せる機会にできればと、旬の食材を使用した給食を提供。保護者には給食展示と共に掲示で旬の食材の栄養や調理方法について紹介しました。

■ 離乳食への対応

後期食、移行食に分けて、毎月 1 回面談を行いながら保護者と連携をとりつつ個々の発達状況に合わせた離乳食を提供しました。

■ 食物アレルギー児への対応

食物アレルギーのあるお子さまは、医師の診断書・指示書に基づき、保護者と

面談を実施した上で、除去食を提供することになっています。

■ 衛生管理

集団給食施設届出を美作保健所に提出しています。

また、連携推進員以外の職員は毎月検便を行っています。

感染症流行期にはノロウイルスの検便も追加して実施しています。

7. 体調不良児保育

看護師1名を配置し、園児が保育中に熱を出すなどの体調不良となった場合、保護者のお迎えまで医務室または職員室にて保育をしました。

37.5℃以上の発熱が認められた場合は、保護者に連絡を取り、希望があれば体調不良児保育を実施しました。

看護師退職により、体調不良児保育は令和7年7月末をもって中止しました。

8. 延長保育

保護者就労時間の長時間化により、毎月の延長保育利用がありました。

9. 一時預かり保育

今年度は、4月に園児数14名でスタートし、東和薬品株式会社祝日開園日の東和社員のお子様の保育と、退園児の退園後の保育に限り、実施しました。

10. 子育て相談

今年度は、子どもの発達に心配を持つ保護者や、子育てに不安を抱える保護者とゆっくり話す時間を設け、情報を共有することで、保護者が安心して預けられるように、また、安心して保育ができるように、子育て相談を行いました。

11. 職員研修

保育分野、調理分野共に専門職としての自己研鑽に努める為、毎月1回の職員会議を行い、保育実践の振り返りと評価を行い、保育の質の向上と職員全体の共通理解や意識の統一を図りました。

12. 委員会活動

令和3年度に始めた2つの委員会活動を継続して実施しました。安心・安全な保育を目指して職員間で協議し、園内の意思統一を深めることに尽力しました。

①安全対策委員会

1 か月間のヒヤリハットを検討し、事故防止に向けてのルール作りや環境改善を行い職員会議にて全職員に周知徹底を行いました。

回	日 付	主な内容
第 1 回	2024 年 4 月 22 日（木）	初期事故発生防止のための安全確認について
第 2 回	5 月 28 日（水）	4 月から 5 月のヒヤリハットについて 水・泥遊びについての注意点
第 3 回	6 月 26 日（木）	5 月から 6 月のヒヤリハットについて 熱中症予防等岡山県からの注意事項 安全点検順番の確認
第 4 回・ 5 回	8 月 28 日（木）	7 月から 8 月のヒヤリハットについて 危機管理マニュアル学習 子供家庭庁からの通知について
第 6 回	9 月 19 日（金）	8 月から
第 6 回	2024 年 1 月 11 日（水）	アレルギー個人マニュアルについて 散歩時の園外保育の役割分担と園外保育記録簿について
第 7 回	10 月 30 日（木）	ニュースの虐待案件共有 9 月から 10 月のヒヤリハットについて
第 8 回	11 月 26 日（水）	事例検討：置き去り・抜けだしについて 10 月から 11 月のヒヤリハットについて
第 9 回	1 月 29 日（木）	園の死角について 12 月から 1 月のヒヤリハットについて 1 月 7 日の鳥取・島根地震について
第 10 回	2 月 20 日（金）	送迎時の運江 ンについての注意喚起 2 月のヒヤリハットについて 不審者対応について
第 11 回	3 月 27 日（金）	事故発生時の対応マニュアルについて 2 月から 3 月のヒヤリハットについて

② 感染症対策委員会

園内の感染症対策について検討し、ルールや環境改善を全職員に周知徹底して、園内の感染症予防に努めました。

回	日 付	主な内容
第 1 回	2024 年 5 月 20 日（火）	ケガの処置変更について 三種混合ワクチン接種について 急性呼吸器感染症対応について
第 2 回	8 月 7 日（木）	流行中の百日咳の対応について 感染性胃腸炎について
第 3 回	11 月 19 日（水）	手足口病・溶連菌感染症・マイコプラズマ肺炎・伝染性紅斑等感染時の出勤可否について
第 4 回	2 月 6 日（金）	現在流行中の感染症について マイコプラズマ肺炎について